

**1 平成 17 年度
薬物乱用防止高校生会議の概要**

実施概要

1 参加高校

平成17年度は、下記2校の私立高校の協力を得て実施した。

京華学園高等学校

女子美術大学附属高等学校

2 実施内容（全体会議）

	実施日	実施内容
第1回	平成17年6月27日（月）	・高校生会議概要説明・学習 東京都からの説明と講義
第2回	平成17年7月21日（木）	・施設見学・学習 東京税関 下総精神医療センター
第3回	平成17年9月22日（木）	・講演 心理カウンセラー 富永 滋也氏
リハ-サル	平成17年11月26日（土）	・会場でのリハ-サル・準備
発表	平成17年11月27日（日）	・都民大会発表 演劇（京華学園高校） STARDUST PARADISE ～私たちはいない人間ですか～ 展示（女子美術大学附属高校） 薬物乱用防止空間アート 「 You can never emerge 」

平成17年度薬物乱用防止高校生会議実施要領

1 目的

- (1) 高校生自らが薬物乱用を身近な問題としてとらえ、薬物の誘惑を排除できる能力を習得する機会を設ける。
- (2) 参加高校生が学習した内容を広く同世代の仲間に発信していくことによって、より効果的な啓発活動を展開する。
- (3) 学校現場における薬物乱用防止に関する指導手法の構築を図る。

2 参加高校

京華学園高等学校
女子美術大学付属高等学校

3 実施方法

会議の具体的な実施方法については、各校の教諭及び東京都福祉保健局健康安全室薬務課で協議し決定する。

事業全般を通じた指導は、参加高校の教諭が行い、薬務課は、必要に応じて資料の提供、講師による講演会及び施設見学の手配等を行う。

4 会議の内容

(1) 生徒の募集

参加高校から意欲的な生徒を30人程度募集する。

(2) 会議のスケジュール例

ア 第1回6月

(場所)東京都庁会議室

(内容)

参加者の顔合わせと自己紹介、スケジュール説明
薬物に関する基礎知識の取得(講義等)
活動・課題設定

イ 第2回7月

(場所)各関連施設

(内容)

薬物乱用防止対策の現状認識を深める体験学習等
施設見学
講義聴講

ウ 第3回9月

(場所)東京都庁会議室

(内容)

薬物乱用の恐ろしさ、回復の困難さに対する認識を深める。
薬物依存回復者等の講義等聴講

エ 第4回10月

(場所)東京都庁会議室

(内容)

学習した内容から同世代に向けたメッセージの検討
成果の発表方法の検討及び準備

なお、進行状況により、会議を追加して実施することができる。
また、「麻薬・覚せい剤乱用防止運動」都民大会等での発表の機会を設ける。

5 成果物の活用

- (1) 学習した内容を同世代に発信していくためのリーフレット等作成し、都内の高等学校に通う第1学年の全生徒に配布する。
- (2) 事業の取組を、福祉保健局のホームページに掲載し、広く都民に対して発信する。

6 指導教諭及び事務局

別紙「平成17年度薬物乱用防止高校生会議担当者名簿」のとおり

平成17年度薬物乱用防止高校生会議名簿

学 校 名	所 属	氏 名	
京華学園高等学校 〒112-8613 文京区白山5-13-5 電 話 3946-4434 F A X 3946-4315	1年	清水 恵	
	1年	西澤 佳奈	
	1年	山田 ちひろ	
	1年	池田 春乃	
	1年	神田 明美	
	1年	藤本 春佳	
	1年	菊地 香澄	
	2年	桜井 友貴	
	2年	鈴江 由美子	
	2年	高柳 絢子	
	2年	戸口 未貴	
	2年	牛久保 早苗	
	2年	太田 みのり	
	2年	彼ノ矢 恵美	
	2年	國津 晶子	
	2年	喜尾 梢	
	2年	杉浦 瑞穂	
	2年	黒川 佑樹	
	3年	室賀 まゆ	
	3年	内田 千春	
	3年	倉林 美貴	
	3年	田畑 あづ菜	
	3年	福島 龍一	
指導者	教諭	伊藤 弘成	
女子美術大学付属高等学校 〒166-8538 杉並区和田1-49-8 電 話 5340-4541 F A X 5340-4542	1年	伊藤 由佳	
	1年	小菅 美郷	
	1年	戸松 星河	
	1年	堀井 麻希	
	1年	本橋 美保	
	2年	野邊 佑希	
	3年	井手 美祐紀	
	3年	小鶴 恭子	
	3年	小松 菜穂	
	3年	小柳 早苗	
	指導者	教諭	上野 不比人
		教諭	岡田 洋介
		教諭	北川 希
教諭		並木 憲明	

2 实施内容

第一回 薬物乱用防止高校生会議

平成17年6月27日(月曜日) 場所 都庁会議室

(1) 高校生会議の概要について

京華学園高校演劇部と女子美術大学付属高校有志の生徒計33名が参加

高校生が自ら薬物乱用防止活動に参加し、薬物乱用を身近な問題としてとらえ、薬物の誘惑を排除できる能力を習得する機会を設けると共に、会議を通して学習した内容や感じたことをまとめ、広く同世代に発信してもらいことを確認しました。

(2) 薬物乱用防止基礎講座

講師 東京都職員

薬事監視員であり、司法警察員(麻薬取締員)でもある東京都職員から薬物乱用とその防止についての基礎的な講義を行いました。あわせて、啓発ビデオや薬物標本・パネルなどの視聴を行い、薬物問題を改めて身近なものとして考えるきっかけになりました。

(3) 今後の活動について

学習した内容を同世代に発信していくために『平成17年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動都民大会』【11月27日(日曜日) 東京都庁大会議場】で活動発表を行うこととリーフレットを作成し、都内の全高等学校に配布することを確認しました。

(4) すなっぶの取材について

東京都提供のミニドキュメンタリー番組

『すなっぶ』 テレビ東京 毎週水曜日 19:55~20:00

高校生会議の活動の様子を計3回放送する予定であり、全体の会議のほかにも、各校に戻っての活動の様子についても随時取材を行うことを説明し、番組制作への協力をお願いしました。

第二回 薬物乱用防止高校生会議

平成17年7月21日(木曜日) 場所 東京税関・下総精神医療センター

(1) 東京税関

1 施設の概要

- ・東京税関の歩み ……東京港の税関の歴史は慶応3年までさかのぼり、東京税関は昭和28年から。
- ・東京税関の管轄 ……一都五県及び成田空港など広い範囲を管轄としている。
- ・税関の役割 ……主に、監視・通関・税務・保税行政からなる。
- ・密輸取り締まり ……社会生活の安全と健康を破壊するけん銃や薬物の密輸入の防止

2 講義概要

東京税関の方から、パワーポイントやスライドを使いながら、税関の仕事の概要から、特に薬物の密輸の取り締まりについて詳細に講義をいただいた。さらに、密輸以外の薬物犯罪についても含めて、生徒たちの質問にも丁寧に答えていただいた。

その後、水際取り締め第一線の現場ならではの展示（実際の押収品など）を見せて頂き、密輸の巧妙さに大変驚くとともに、薬物犯罪の恐ろしさに触れ、貴重な学習となりました。

（2）下総精神医療センター

1 施設の概要

国立病院機構の精神基幹医療施設に指定され、国の精神疾患に対する政策医療を実施する医療機関として急性期・慢性期の精神障害、精神・結核合併症及び神経疾患、薬物依存・中毒疾患、問題行動を伴う重度老人痴呆疾患を柱とした医療と診断、臨床研究、教育研修及び情報発信をする医療機関です。

病床数（定床） 523床（精神）

標榜診療科 精神科、神経科、心療内科、内科、外科、
リハビリテーション科、歯科（入院患者のみ対応）

2 講義概要

精神科医長の平井愼二先生から、「規制薬物を乱用する生徒を救う学校の対応」というテーマで最初に授業形式での講義、つづいて、「大切な友達が覚せい剤を使っていたらどうするか。」という設定で、生徒A・B・C、先生A・B、警察官に分かれてロールプレイを行いました。薬物乱用がまさに身近に起こった場合について、様々な立場での行動を考え、表現した後に、先生の理論である「薬物需要削減のための連携体系と関係機関の役割」にもとづいて、講義をいただきました。

ロールプレイが白熱し大幅に時間オーバーとなったため、後半の質疑応答と専門外来診察室の見学は、同科医師の小田晶彦先生が引き継いでくださいました。

両先生から診察の際のエピソードなどもお聞きすることができ、生徒の質疑についても真剣にお答えいただき、薬物依存症に真摯に取り組んでいらっしゃる両先生の熱意に参加生徒一同大変感銘を受けました。

第1回 すなっぷ放映

平成17年8月3日（水曜日） テレビ東京 19:55～20:00

京華学園高校演劇部について、東京大会で成果発表として公演する薬物乱用の恐ろしさを訴える演劇への取組みの様子を紹介

第三回 薬物乱用防止高校生会議

平成17年9月22日（木曜日） 場所 都庁大会議場

（1）講演会

講師 富永 滋也氏（心理カウンセラー）

現在のお仕事である薬物依存症や引きこもりをかかえる若者への臨床の取り組みのお話につき、自身の壮絶な薬物依存経験とそこからの回復の過程、そして今何を考え、特に若者に伝えたいことなどについてお話を伺いました。参加生徒からの様々な質問にも真摯に答えていただき、ほとんどの生徒にとって実際に薬物依存体験を持ちそこから回復した方の話を聞くのは初めての体験であり、大変有意義な時間となりました。

(2) 東京大会の発表について

実際の東京大会の会場となる大会議場の舞台やレセプションホールを見学し、発表のイメージをつくるとともに、準備のシュミレーションを行いました。

薬物乱用防止高校生会議発表（リハ-ル）

平成17年11月26日（土曜日） 場所 東京都庁 大会議場

27日の本番に向けて、本番会場で、公演のリハーサルと空間アートの製作準備を行いました。

薬物乱用防止高校生会議発表

平成17年11月27日（日曜日） 場所 東京都庁 大会議場

『平成17年度麻薬・覚せい剤乱用防止運動都民大会』において、学習成果の発表として、演劇の公演と空間アートの展示、リーフレットの配布を行いました。
当日はNHK特集の取材も入り、質の高い内容で大変好評を得ました。

京華学園高校

（演劇）STARDUST PARADISE ~私たちはいない人間ですか~



女子美術大学付属高校
(空間アート) You can never emerge



以上の全体会議のほかに、各校ごとに、何回も自主学習をすすめ、それぞれの成果発表に向けて準備を行いました。

第2回 すなっぷ放映

平成18年1月18日(水曜日) テレビ東京 19:55~20:00

京華学園高校演劇部の東京大会での公演について、演じた生徒たちや公演を見た方へのインタビューを交えてリハーサルから本番までを紹介

第3回 すなっぷ放映

平成18年1月25日(水曜日) テレビ東京 19:55~20:00

女子美術大学付属高校について、薬物乱用の恐ろしさをアートの形で表現する空間アートと同世代へのメッセージとして制作するリーフレットについて、制作の過程から東京大会での発表までを紹介